

面談可能日時（ハイライトの日時）

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
30	1	2 9:00-12:00	3	4 14:40(自然環境学B 終了後)-17:30	5 9:00-13:00	6
7	8	9	10 11:30-17:30	11 14:40(自然環境学B 終了後)-17:30	12 9:00-13:00	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

その他の日時で希望があれば、メールでお知らせください

terasaki@iwate-u.ac.jp

『自然環境学演習Ⅰ・Ⅱ』担当：寺崎 正紀

1. 演習の概要

身近な商品の成分や新製品に使われる物質、廃棄後の行方、エネルギー、環境基準の考え方などを題材に、環境リスクの視点から「化学物質の政策」を学びます。化学物質による環境問題や健康影響をリスクとして評価し、法規制や行政、企業の対応について考えます。

2. 演習の進め方

演習Ⅰは、テキストを要約して発表・討論する「輪講」形式で進めます。使用テキストは化学物質やゴミ・廃棄物による環境汚染、ヒトや野生生物への影響、再生可能エネルギーの導入事例と効果検証、環境リスクの見積もり方などを扱った新書を中心に選定しています。

演習Ⅱは、原則として3~4年生の全員が参加します。輪講に加えて、特別研究に向けたショートプレゼンを取り組みます。また東北地方の河川や海岸などフィールド調査への参加を1回ほど予定しています。過去5年の使用テキストや調査先は以下の通りです。

【テキスト】消された水汚染：永遠の化学物質 PFOS・PFOA の死角(平凡社新書、2022年)、香害入門(緑風出版、2022年)、「再エネ大国日本」への挑戦(山と渓谷社、2020年)、エネルギー・シフト(白桃書房、2020年)、海洋プラスチックごみ問題の真実(化学同人、2020年)、本当のタバコの話をしよう(日本評論社、2019年)、環境科学入門第2版(化学同人、2018年)

【フィールド調査】北上川(盛岡～石巻間)での調査、陸前高田サケマスふ化場での調査、盛岡市内の水道水調査、岩手県内道路でのタイヤ摩耗片調査、小売店での食品容器包装の調査

3. 履修条件と選考方法

履修を検討している学生は、簡単な面談を受けてください（これが履修条件となります）。面談の日時は研究室Web（右下QRコード）の「行事」を参照のうえ、希望日時をメールからお知らせください。ゼミ活動（調査や忘年会など）に参加できる学生を歓迎します。特別研究では、河川などのフィールド調査や商品の分析といった実験系のテーマのほか、文献・資料研究を中心とする非実験系のテーマがあります。いずれのテーマでも、ExcelやRを使った計算や統計処理を行う機会がありますので、演習選択の参考にしてください。

4. 演習Ⅰ・Ⅱの開講曜時、その他

- ◆ いずれも水曜14:55～16:35、ゼミの活動や進路情報などは研究室Web参照。
- ◆ 面談の連絡先：terasaki@iwate-u.ac.jp
- ◆ 特別研究のテーマの抜粋（2020年度～）



- | | |
|------|---|
| 実験系 | <ul style="list-style-type: none">・競技場で使われる人工芝による水環境汚染に関する研究：東北と首都圏の比較・三陸産サケから解析するマイクロプラスチック海洋汚染に関する研究・リサイクル紙から生じる未規制物質による北上川汚染に関する研究・タイヤ摩耗片による岩手県内の路上汚染と環境規制に関する研究・盛岡市内の水道水に含まれるマイクロプラスチックと健康影響に関する研究・有機フッ素化合物PFASによる北上川の水質汚染に関する研究・北上川流域における医薬品汚染と水生生物への影響に関する研究・食品保存料および食品廃棄物と環境負荷に関する研究・野焼きによる地域の公害問題と環境基準に関する研究・コスメに含まれるマイクロプラスチックと環境負荷に関する研究 |
| 非実験系 | <ul style="list-style-type: none">・環境に配慮した食品容器・包装の評価と今後の可能性に関する研究・新型タバコと改正健康増進法の妥当性に関する研究・データからみる都道府県別の農薬リスクに関する研究 |